

## 平成28年度組織目標中間評価(琵琶湖環境部循環社会推進課)

番号	目標項目	目標値等(目標の内容)	進捗状況 (目標の達成状況および 達成に向けた取組の実施状況等)	年度末 達成見 込	目標達成が困難 と見込まれる場合 の原因	今後の対応方針 (目標達成に向けた取組および スケジュール等)
1	第四次滋賀県廃棄物処理計画の策定および推進	○第四次滋賀県廃棄物処理計画の策定 (平成28年8月策定予定)  ○第四次滋賀県廃棄物処理計画の推進	第四次滋賀県廃棄物処理計画 策定済 ・パプコメ実施(4/13~5/12)9件の意見等あり ・県政経営幹事会議(6/10)パプコメ結果報告 ・環境・農水常任委員会(6/16)パプコメ結果報告 ・7/1付けで策定	◎	—	・今後は、第四次滋賀県廃棄物処理計画に沿って各施策を着実に推進していく。
2	食品ロス削減運動の推進	○県職員も一消費者として食品ロス削減に取り組むため、職員相互で食べ残しゼロを申し合わせる。(平成28年8月予定) ○食品ロス削減運動の気運を醸成するため、県民向けの普及啓発や情報提供を行う。	「食品ロス」削減に向けた滋賀県職員の率先行動について」発出済 ・県政経営幹事会議(7/8)説明 ・全庁向けお知らせ掲載(7/11) ・県庁子ども参観日ミニミニスクール(8/2) ※3R推進の取組のひとつとして講演	◎	—	・11月リニューアル予定の「ごみ減量・資源化情報」サイトにおいて、県民や事業者向けの啓発ページを掲載。併せて、食品ロス削減レシピを公募し、優秀なレシピをサイトで紹介するなどして、食品ロス削減に向けた普及啓発や情報提供を行っていく。
3	PCB廃棄物の期限内の適正な処理完了の推進	○PCB特措法に基づく届出済みの保管事業者に対する高濃度のPCB廃棄物等にかかる処理予定時期の確認 ・すべての事業者(H26末届出数262事業者) ○掘り起こし調査によるPCB廃棄物の保有保管の有無等にかかる状況把握(アンケート調査対象7,070箇所) ・調査対象箇所の60%以上	○高濃度PCB廃棄物等の処理予定時期の確認 H26末届出数262事業者中、219事業者に確認(進捗率:84%)  ○掘り起こし調査によるアンケート調査の実施 7,070箇所のうち、2,000箇所にアンケート調査を先行実施し、督促1回を実施した。また、残る5,070箇所に対しアンケートを送付し、回答状況について取りまとめ作業中。 先行実施数 2,000箇所(回答数1,247箇所/62%)	○	—	○高濃度PCB廃棄物の処理予定時期の確認 引き続き環境事務所による電話確認や立入調査を行って100%の確認を行う。  ○掘り起こし調査によるアンケート調査の実施 既送付済みの事業者のうち、返信していない事業者(箇所)に対して、再度督促等を行いながら、目標以上の回答率を確保するとともに、得られた回答を基に適正処理のための指導を行っていく。

番号	目標項目	目標値等（目標の内容）	進捗状況 （目標の達成状況および 達成に向けた取組の実施状況等）	年度末 達成見 込	目標達成が困難 と見込まれる場合 の原因	今後の対応方針 （目標達成に向けた取組および スケジュール等）
4	産業廃棄物の不法投棄等の撲滅	○産業廃棄物の不適正処理事案のうち新規発生件数の年度内解決率 (H28年度末) 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月末現在産業廃棄物不適正処理事案 新規件数：55件、 解決件数：49件、 解決率：89.1%</li> <li>・ 各環境事務所における不法投棄監視指導員による管内パトロールや不適正処理事案に対する指導</li> <li>・ 不法投棄撲滅キャンペーン（5/30～6/5）期間における啓発活動を実施</li> <li>・ スカイパトロールを実施（5/26と7/5の2回）</li> <li>・ 早朝、夜間、休日の委託パトロールの実施（県内3区域に区分。各地域ごとに1か月9～10日）</li> <li>・ 隣接他府県との合同路上検査を実施（5月末～6月中旬に5回）</li> <li>・ 1環境事務所において住民との協働による原状回復事業を実施（6月）</li> </ul>	○	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各環境事務所における不法投棄監視指導員による継続した管内パトロールや不適正処理事案に対する指導</li> <li>・ 早朝、夜間、休日の委託パトロールの継続実施（県内3区域に区分。各地域ごとに1か月9～10日）</li> <li>・ 不法投棄防止強調月間（10月） 広報啓発活動 （広報車啓発、啓発品等の配付啓発、ポスターの掲示等） 隣接他府県との合同路上検査（3回予定）</li> <li>・ スカイパトロール（11月～1月に1回）及び小型無人航空機を活用した監視</li> <li>・ 電子マニフェストセミナー（10/21）の開催と電子マニフェストアンケート調査の実施（11月）</li> </ul>
5	旧RD最終処分場問題の着実な解決	○周辺自治会と情報共有、意見交換をしながら、二次対策工事の計画に従って、A工区の底面遮水工を完了するとともに、B・C工区についても着実に工事を実施する。	○旧RD最終処分場問題連絡協議会を6月と9月に開催し、モニタリング結果や工事進捗、施工方法について周辺自治会の理解を得た。 ○現場見学会を2回開催した。（累計住民35名参加） ○工事の進捗は、A工区の底面遮水工が9月に完了し、A工区概成にむけ埋戻しを進めている。	◎	-	○今後最低2回は連絡協議会を開催する。（12月下旬に第3回開催予定） ○工事の進捗に合わせて、今後も適宜現場見学会の開催する。 ○A工区を概成させ、引き続きB・C工区の掘削を進める。
6	産業廃棄物の適正な処理の推進	○年度内に、県によるすべての廃棄物処理施設等への立入検査等の実施 ①廃棄物処理施設等 全395施設（H27末） ②排ガス、放流水等の調査 ・ 煙道排ガス 16施設／49施設 ・ 最終処分場放流水等 5施設／29施設 ・ 一般廃棄物焼却処理施設のばいじん 9施設／9施設	○立入検査 [実施率 46.3%] 全施設 404施設 立入済施設 187施設 ○排ガス、放流水等の調査（実施数/対象数） 煙道排ガス調査 1/16施設 最終処分場放流水等 3/5施設 ばいじん 0/9施設	○	-	○廃棄物処理施設等への立入検査については環境事務所等において計画的に実施されており年度末には達成できる見込み。 ○排ガス、放流水等の調査については、9～12月に集中して実施する予定であり、計画に従って達成できる見込み。

番号	目標項目	目標値等（目標の内容）	進捗状況 （目標の達成状況および 達成に向けた取組の実施状況等）	年度末 達成見 込	目標達成が困難 と見込まれる場合 の原因	今後の対応方針 （目標達成に向けた取組および スケジュール等）
7	環境美化活動への参加の拡大	当課が主催する環境美化活動において、参加（申込）した団体数を平成27年度比で10%増加させる（76団体）。 【参考：平成27年度 69団体】	平成28年9月末時点実績 53団体 ・びわ湖を美しくする運動 53団体 【参考：平成27年度 41団体】 市内企業や包括連携協定締結企業、大学の環境系サークル等に呼びかけたところ18団体の新規参加があった。	◎		12月1日を基準日とした県下一斉清掃運動でも県ホームページ、facebook等の広報媒体や環境美化監視員の啓発活動により広く参加を呼びかける。

- ・「目標項目」および「目標値等（目標の内容）」の欄は、年度当初に設定した組織目標の該当欄から転記してください。
- ・「進捗状況」の欄は、「目標値等（目標の内容）」ごとに9月末現在の状況を把握して記入してください。
- ・「年度末達成見込」の欄は、中間評価時点での状況により、年度末の目標の達成について
  - ◎目標を超えて達成（100%超）可能、○目標どおり達成できる（100%）見込み、
  - △目標の半ば以上の実績（50%以上）見込み、×目標の半ば以下の実績（50%未満）見込み